

# 山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行  
山形県保険医協会  
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル  
電話 023 (642) 2838  
FAX 023 (642) 2839  
購読料 円共1ヵ月 500円  
印刷 コロニー印刷  
第545号

4月号 TOPICS

## 春のPR号

今月号はまだ会員になられていない先生にもお送りしています

### 協会にはこんな問い合わせが寄せられています

#### 診療報酬に関して…ちょっと確認

- ・算定時にカルテ記載の要件が変わったらしいが…?
- ・レセコンでエラーが出るようになったが何か変わったの?
- ・届け出用紙の書き方、提出方法、提出期限を教えてください。

#### 個別指導の通知が届いた

- ・色々な書類が求められているが何から準備すればよいの?
- ・指導ではどんなことが指摘されるの?
- ・カルテはきちんと記載しているつもりだが、ちょっと心配…

#### 日常診療で突然生ずる疑問

- ・いきなり同じような減点がたくさん来た。どんな理由なの?
- ・見慣れない申請書を患者が持ってきた。費用や対応方法は?
- ・カルテの開示を患者から求められたのだが…

#### 立入検査の通知が届いた

- ・必要な指針などの整備について相談したい。
- ・サイバーセキュリティ対策とは? 何が求められるの?
- ・忙しくて院内研修がなかなかできないのだが…

### 入会方法

入会申込書に必要事項を記入いただき、協会へ送付ください(FAX可)。ホームページからもお申込みいただけます。

【会費】入会金はありません。会費には定期刊行物の料金も含まれています。

〈定期刊行物：山形保険医新聞(月1回)、全国保険医新聞(月3回)、月刊保団連(月1回)〉

**開業医会員** 月額 5,500円    **勤務医会員** 月額 3,500円

※開業医会員は入会后1年間のみ3,500円

●ご入会のお申込み、解説動画ID・パスワード、テキスト注文など、電話またはホームページからお問い合わせください。



# そのお悩み 保険医協会が解決します

### 会員投稿を募集しています

原稿送り先 山形県保険医協会 広報部

〒990-0043 山形市本町2丁目1-2 FAX 023 (642) 2839

診療のちょっとしたアイデア(医科・歯科)、趣味の写真、旅行記、書評、ご意見など  
郵送・FAX・メールでお送りください  
審査の上、掲載いたします(薄謝あり)

### 春のPR号

1面 協会の活動紹介

6面 頼れる共済制度のご案内

●ぜひこの機会にご入会ください●

医科・歯科診療所、病院向けスタッフセミナー Web 配信のご案内

患者満足度の高い医療機関を目指して

## —信頼に結びつく「患者クレーム対応」—

### 講師／植野のり子氏

- 第1部 クレームを理解する／クレームと苦情の違いは? 発生のしくみと原因
- 第2部 クレーム対応のポイント／クレームを受ける時の注意点 お詫びの対応スキル
- 第3部 クレーム対応の実践／クレーム対応事例で考える クオリティ向上への今後の対応



視聴期間 2025年5月14日(水)～6月20日(金)

対象 会員医療機関の医師・歯科医師、看護師、歯科衛生士、看護助手、歯科助手、受付事務ほか、全ての医療機関職員(未入会の医療機関はご入会の上お申込みください)

視聴方法 YouTubeによるWeb配信方式

インターネットによる視聴環境をご準備ください

視聴無料

事前申込が必要です

山形県保険医協会 医科 在宅医療点数Web講習のご案内

## 「在宅医療点数の手引」入門

～「手引」を効果的に活用するための留意点～

※講師 山田 祐也氏(全国保険医団体連合会 事務局主査)

※動画時間 前編 40分 後編 40分

※視聴期間 2025年4月1日(火)～5月30日(金)

※視聴方法 YouTubeによるWeb配信方式  
インターネットによる視聴環境をご準備ください  
視聴方法、ID、パスワードは講演資料と一緒に送ります

※対象 医療事務のほか在宅医療を担う医師・看護師などの医療従事者(未入会の医療機関はご入会の上、お申込みください)

※申込方法 会員の先生は、既にお送りしている申込書からFAXにてお申込みください  
右の二次元コードからもお申込みいただけます

視聴 無料  
(要申込)



最近の自然災害はひどい。2月末、岩手県大船渡市で大規模な山林火災が起きた。先月も愛媛、岡山、宮崎と立て続けに山林火災が発生した。今年の冬は北日本から西日本の日本海側を中心に集中豪雪も発生した。北極の温暖化が進んでしまい、熱帯との温度差が縮まったため、偏西風が弱まり蛇行しやすくなっていることが原因らしい。特に冬季に偏西風が蛇行すると、強い寒気が日本へ南下し、局地的な「ドカ雪」を引き起こす。日本近海の水温は、世界全体の海水温の平均上昇率を大きく上回っており、海水温の上昇により近年は台風が多発し、海の生態系にも影響を及ぼしている。日本で起きていることは、地球温暖化の縮図とも言えそうだ。さらに、日本では今後30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率が80パーセント程度と言われている。温暖化による影響のみならず、地震などの自然災害は今後も毎年襲ってくる可能性がある。そんな時、必ず必要になるのが医療である。だからこそ私たち医療従事者は、いつでも駆けつけられるよう災害への基本的な備えに加え、定期的な訓練参加や知識のアップデートなど、できる準備を日頃からしておかなければならないだろう。(N)

